

長良川遊水地河川環境調査検討会 設立趣意書（案）

長良川では、戦後最大規模の洪水（平成16年10月洪水）を安全に流下させるため、板取川合流点から下流の区間において、基準地点忠節で約200m³/sの流量を低減させることを目的に、美濃市横越地区及び関市池尻地区における遊水地整備を令和2年3月に木曾川水系河川整備計画に位置付けた。

上記の2箇所における遊水地整備を対象に、事業箇所及び周辺を含めた環境調査を継続し、重要種の分布を確認するとともに、生態系に配慮して生息環境の保全に努めていくことを目的とし、その具体的な手法について検討するため、「長良川遊水地河川環境調査検討会」を設立するものである。